

少数台数のリコール届出の公表について (平成23年4月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成23年4月は5件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ニコル・レーシング・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
4月7日	外1741	車名：BMWアルピナ 型式：ABA-3K30 他 通称名：B3Sビ・ターボ 他	6	平成22年5月31日～ 平成22年8月5日
不具合の部位等	原動機において、冷却水ホースとエアクリーナダクトとの隙間が少ないため、走行振動等により冷却水ホースとエアクリーナダクトが接触することがある。そのため、そのまま使用を続けると、冷却水ホースが損傷し、最悪の場合冷却水が漏れるおそれがある。			

2. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月19日	2739	車名：三菱 型式：MU612TX 通称名：ふそうエアロキング	85	平成12年12月15日～ 平成15年12月8日
不具合の部位等	後前軸を固定する下側ラジアスロッドの車体側取付金具の形状が不適切なため、当該金具の内側に水が浸入して腐食するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該金具が脱落し、走行安定性が損なわれるおそれがある。			

3. 届出者：クライスラー日本株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
4月21日	外1746	車名：クライスラー 型式：ABA-KK37 通称名：ジープ・チェロキー	11	平成20年7月30日～ 平成20年7月30日
不具合の部位等	フロントワイパーモータにおいて、製造工程が不適切なため、内部気圧調整用の通気孔が塞がっているものがあり、外気と当該モータ内の気圧が均等にならないものがある。そのため、作動により温度が上がっているモータが雨水等により急激に冷却された場合、当該モータ内が負圧となって内部に雨水等が吸い込まれ、そのままの状態で使用を続けると、当該モータの内部回路が腐食し、フロントワイパーが作動しなくなるおそれがある。			

4. 届出者：フィアットグループオートモービルズジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
4月26日	外1744	車名：フィアット 型式：ABA-16912 他 通称名：パンダ 他	74	平成21年11月13日～ 平成22年1月12日
不具合の部位等	かじ取り機構において、ステアリングシャフトとステアリングアッパージョイントの組み付け工程が不適切なため、ステアリングシャフトとステアリングアッパージョイントの嵌合部がかしめられていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該嵌合部がゆるみ、最悪の場合、ステアリングシャフトが空回りして、かじ取り操作ができなくなるおそれがある。			

5. 届出者：フィアットグループオートモービルズジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
4月26日	外1745	車 名：フィアット 型 式：ABA-312141 通称名：アバルト500	42	平成22年 3月23日～ 平成22年 6月30日
不具合の部位等	クラッチマスターシリンダー用固定ボルトにおいて、誤品を使用してしまったため、ペダルユニットに対する固定が不十分なものがある。そのため、クラッチペダル操作時等に当該ボルトに負荷がかかり、そのまま使用を続けると、最悪の場合、当該ボルトが破断しペダルを操作しても油圧が発生しなくなり、クラッチ操作が出来なくなるおそれがある。			

【参考】平成23年4月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	6 件	5 件	1 件
輸入車	6 件	2 件	4 件
計	12 件	7 件	5 件